

三重の土地改良アラカルト

農地耕作条件改善事業を活用したキウイフルーツ園地整備について

【はじめに】

農地耕作条件改善事業とは、地域の多様なニーズに応じたきめ細かな耕作条件の改善や、農地中間管理機構による担い手への農地集積の推進、高収益作物への転換等をハードとソフトを組み合わせる支援する事業であり、県内各地で取組が行われています。今回は、この事業を活用し、キウイフルーツ園地を整備した事例を紹介します。



作付け状況



キウイフルーツ園地

【取組事例】

玉城町で実施中の原地区は、柿を中心とした樹園地でしたが、農家の高齢化や販売価格の低迷などの影響を受け、遊休地化が進んでいる状況でした。今回、農業法人が事業実施主体となって、この遊休地を含む約7.3haの農地をすべて借り受け（集積・集約）、本州最大級のキウイフルーツ園地が整備されました。

園地整備では、通常の基盤整備だけでなく、営農労働力の軽減及び品質確保を目的としたICT 灌水施設の導入や、キウイ栽培に適した営農環境を整備するための防風ネットや果樹棚の設置を行っています。

また、キウイ苗木の購入支援や、先進地であるニュージーランドの農業者による営農指導など、本事業の特色である営農定着を図るためのソフト対策を実施しています。

【事業成果】

令和4年9月にキウイフルーツの初収穫が行われ、約100トンの収穫があり、スーパーなどで三重県産キウイとして販売されています。今後、更なる増収が期待され、5年後には3倍の約300トンの収穫を見込んでいます。

また、栽培や収穫では、多くの労働力が必要となるため、地域における新たな雇用創出が期待されています。

【今後の取組】

今回のキウイフルーツ園地では、出荷規格外品を地域と連携して、アイスクリームなどの加工品へ展開していくことも検討しており、地域の活性化が期待されています。また、県内の他地域では玉城町の事例を参考に、30haのキウイ園地の開発が見込まれています。

基盤整備を契機とした高収益作物（キウイフルーツ）の導入

わたらいぐんたまきちよう
【三重県度会郡玉城町】

【工夫のポイント】

- 柿や桃の販売価格の低迷や生産者の高齢化に伴い、増加していた遊休地を活用するため、地権者約50人の土地を営農法人が一手に借受け、**集積・集約**。
- **ICTを活用**した灌水管理と養液栽培により**営農労働力の軽減**。
- 防風ネットの設置や数値による科学的な農業へ移行を図り、**高収益作物（キウイフルーツ）の栽培に適した営農環境の整備**。

【整備前】

柿を主体とする樹園地だったが、**販売価格の低迷、後継者不足**などの課題により、**営農の存続が難しく遊休農地が増加**。

【取組地域の概要】

○位置 わたらいぐんたまきちよう 三重県度会郡玉城町(原地区)

○主要作物
・キウイフルーツ

○主な支援施策
・農地耕作条件改善事業(R1～R8)

キウイフルーツ園地への転換

○ 遊休地を含む**約7.3haの農地全ての集積・集約**を図るとともに、高収益作物（キウイフルーツ）の生産に適した営農環境の整備を早期に進めるため、**生産者自身が事業主体となり、ハードとソフト対策を実施**。

基盤整備 (R1年～R3年)

○ **ICTを導入**し、土壌水分を計測することで、適切なかん水管理と養液栽培に切り替え **営農労働力を軽減**。

○ 防風ネットや果樹棚を設置し、**キウイ栽培に適した営農環境を整備**。

高収益作物（キウイフルーツ）の導入による新たな特産品の創出

○ **本州最大級の「玉城キウイ園地」17.3ha**において令和4年度初収穫を行い**95tを収穫**。

○ 土壌水分等の計測や適切なかん水管理により**将来的に年間300t程度の収穫を目指す**。

○ 今後、玉城町の事例を参考に**県内に30haのキウイ園地の開発**を行うとともに、出荷規格外品を活用したスムージーやアイスクリームなどの**加工品を展開し、地域の活性化に繋げていく**。

キウイ生産のための基盤整備を実施

○ **ICTを導入**し、土壌水分を計測することで、適切なかん水管理と養液栽培に切り替え **営農労働力を軽減**。

○ 防風ネットや果樹棚を設置し、**キウイ栽培に適した営農環境を整備**。

先進地の栽培技術等の導入

○ 地域の担い手である「農地所有資格法人 浅井農園」は、先進地である**ニュージーランドから新しい栽培技術や品種を取り入れ、科学的農業へ移行して経営の安定化を図る**。

メーカーと連携したブランド化

○ キウイ販売大手メーカーと連携し、**三重県玉城産ブランド**として販売。

○ **キウイの出荷時期**は、南半球の4月～10月頃に対して、北半球の**日本は11月～3月頃であり、流通が確保**できる。

キウイフルーツ収穫実績・予測量（約7.0ha）

年度	収穫実績 (t)	予測量 (t)
R3	95	-
R4	140	-
R5	210	-
R6	280	280
R7	320	320
R8	320	320